

県立高校の旬な情報を毎月お届けします。マナーアップ通信、部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなど各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひご活用ください。

10月号の目次

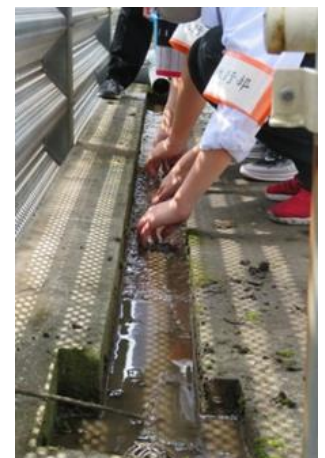
- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1 マナーアップ通信 | (8) 古川工業高校 | 4 コラム |
| (1) 工業高校 | (9) 迫桜高校 | (1) 白石工業高校 |
| (2) 富谷高校 | (10) 石巻好文館高校 | (2) 村田高校 |
| | (11) 石巻北高校 | (3) 佐沼高校 |
| 2 特色ある取組 | (12) 石巻工業高校 | 5 お知らせ |
| (1) 白石高校七ヶ宿校 | | (1) 鹿島台商業高校 |
| (2) 蔵王高校 | 3 学校紹介 | (2) 一迫商業高校 |
| (3) 名取高校 | (1) 柴田高校 | (3) 登米総合産業高校 |
| (4) 仙台三桜高校 | (2) 角田高校 | |
| (5) 宮城野高校 | (3) 仙台向山高校 | |
| (6) 岩出山高校 | (4) 古川高校 | |
| (7) 加美農業高校 | (5) 松山高校 | |

1 マナーアップ通信

(1) 工業高校 <駐輪場の清掃>

私たち宮城県工業高校の生徒会執行部では「生徒会活動の可視化」「学校の活性化」「身近な生徒会」という3つの目標を掲げ活動しています。今回は夏季休業中に行った駐輪場の清掃について紹介します。この活動は、駐輪場がきれいだと、駐輪マナーも今以上に良くなるのではないかと考え行いました。また、駐輪場の清掃は、コロナ禍においてもできる活動として取り組みました。駐輪場の排水溝は人目に付きにくいせいか多くの場所で植物が生え、詰まりの原因となっていたのでそれを取り除きました。

生徒会ではあいさつ運動や清掃活動以外にも、毎月生徒向けに「生徒会便り」を発行しています。今後も生徒会執行部では、自主的に全校生徒の学校生活が明るく、楽しく、元気良くなるように活動を行っていきたいと思っています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://miyagi-th.myswan.ed.jp/>

(2) 富谷高校 <マナーアップ強化日 ～毎月15日～>

富谷高校は、自転車通学の生徒が半数以上を占めており、定期的に正門及び東西門で交通安全指導を行っています。月ごとに決められた期間、教員や生活委員の生徒が交通安全を呼びかけています。その中でも、毎月15日は「マナーアップ強化日」として生徒指導部の教職員に加えて、校長、教頭が正門に立って生徒に声掛けをします。

今年度の「秋の交通安全運動」において、9月21日(火)は富谷高校前交差点で、黒川地区交通安全協会成田支部の方とともに、生徒会執行部の生徒と生徒指導部の教職員が交通安全の声掛けをしました。9月24日(金)と28日(火)に行われた、国道4号線富ヶ丘ニュータウン入り口交差点での交通安全指導では、校長、教頭、主幹教諭、生徒指導部長、総務部長、生徒指導部の教職員が参加し、更に本校PTA会長さんも参加してくださいました。これらの活動では、地域の交通安全協会の方や警察の方、富谷市長さんが参加することもあり、地域が一丸となって交通安全に取り組んでいます。

富谷高校は、今後もこのような活動を通して交通マナーを生徒に身に付けさせ、地域の一員として社会に貢献できる人材を育てていきます。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://tomiya-h.myswan.ed.jp/>

2 特色ある取組

(1) 白石高校七ヶ宿校 <校内生活体験発表を開催しました>

本校では、9月8日(水)に体育館で校内生活体験発表を開催しました。

この行事は、学校生活をとおして得た貴重な体験を発表し、感動と励ましを分かち合うことを趣旨としています。今年は2年ぶりの県大会出場の予選を兼ね、七校生が日々の暮らしの中でこれまで経験したことや、日頃考えていることを7分以内にまとめ、各学年の代表生徒11名が発表に臨みました。

発表内容は、小学校や中学校での生活の振り返りや、高校に入学して休まず通学している自分の気持ちの前向きな変化、卒業を目前にして社会人になる努力に対する自覚と葛藤など実に多彩です。素直に、大切に言葉を紡ぎ、それぞれの思いを発表しました。

審査の結果、1年生の我妻蒼さん(発表題:諦めたらそこで試合終了ですよ)が、最優秀賞を獲得し、宮城県の生活体験発表会へ出場することとなりました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sitika.myswan.ed.jp/>

(2) 蔵王高校 <ZAP (蔵王あすなろプロジェクト)>

本校では、総合的な探究の時間をZAP (蔵王あすなろプロジェクト)と名付け、学校活動と社会とを有機的に結びつけた地域密着型の課題解決プログラムとして実施しています。地元で活躍している社会人を招いての地域学習や近隣施設でのボランティア活動、梨の摘果作業などの体験学習等をとおして、教室の中の学びがどのように社会とつながっており、自分はどのような社会人になるのか、という具体像を描くことができます。学習発表会は蔵王町ございんホールを貸し切り、町役場の職員の方々だけではなく、ゲートボール協会や地域の住民方、保護者や同窓生などが多数訪れる中、全生徒が発表します。



※写真は昨年度の学習発表会のものです。

地域に根ざした開かれた学校を目指し、蔵王高校生はいつも生き生きと活動しています。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

(3) 名取高校 <本校の特色を生かした文化祭>

今年の文化祭(名高祭)は8月27日(金)に開催されました。今年度は、感染症対策を実施の上、校内発表のみの名高祭となりました。



家政科3年生による「ファッションショー」は被服分野を選択している生徒を中心に、23名がオリジナル溢れるドレスを披露しました。参加生徒は、夏休み中も就職活動や進学準備の合間を縫って自らのドレスを製作し、舞台構成についても話し合いを重ねながら、本番に備えました。

今年は、7月に完成した新体育館での発表となり、今までとは一味違う方法を検討し、堂々たる姿で臨みました。多くの生徒が見守る中、中央ランウェイを歩きフィナーレを迎えたその表情は、どの生徒も達成感に満ちあふれていました。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

（４）仙台三桜高校 <合唱コンクール東北大会金賞>

仙台三桜高等学校音楽部が、8月に行われた宮城県大会では金賞・宮城県知事賞を受賞し、9月の東北大会でも金賞を受賞しました。全国大会への出場権獲得はなりませんでしたが、マスクを着用したままの演奏ながら、「豊かな声と表現力」「生き生きとした演奏」などと高い評価を受けました。音楽部では、コンクール参加の他に、地域のイベントや諸施設でのボランティア演奏も積極的に行い、多くのお客様に喜んでいただきましたが、コロナ禍にあって活動の場が減っている状況です。しかし、こんな社会の状況だからこそ、人々を明るい笑顔にしたり、感動させたりできる音楽づくりを目指して、これからも日々の努力を続けていきます。

今年度は、音楽部以外にもボクシングでインターハイ出場や陸上競技部・水泳部・ワンダーフォーゲル部が東北大会に出場しました。また、陸上競技の110メートルハードルと弓道で生徒が三重国体の宮城県代表選手に選ばれるなど各部が活躍しています。

是非皆さんも私たちと一緒に全力で青春を謳歌しましょう。



< 学校のホームページはこちらです >

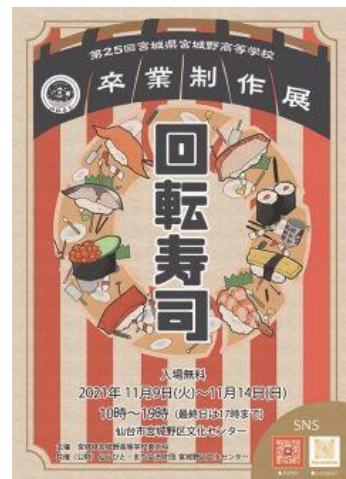
<https://sen3o-h.myswan.ed.jp/>

（５）宮城野高校 <宮城野高等学校第25回卒業制作展>

美術科と総合学科美術系列に所属する生徒は、「美術」という分野の学びに特化し、3年間という短い期間で感性を磨き、知識や技術の向上に取り組んでいます。この卒業制作展はその学びの集大成として毎年11月に開催しています。

今年は「回転寿司」というテーマです。回転寿司は、どんどん回って来る寿司をお客さんが一つ一つ吟味します。そんなふうに卒業制作展でも鑑賞者が個性溢れるそれぞれの作品を巡回しながら楽しめるようにしたいと考え、このようなテーマにしました。内容は洋画・日本画・彫刻・クラフトデザイン・ビジュアルデザインの5つの専攻から42名の個性あふれる作品の展示を行います。併せて美術科1・2年次の授業作品も展示します。

この卒業制作展は11月9日（火）から14日（日）の間、午前10時から午後7時まで、仙台市宮城野区文化センターで開催します。入場無料です。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://miyagino.myswan.ed.jp/>

(6) 岩出山高校 <大崎市，市制15周年記念>

今年は、大崎市の市制15周年を記念し、美術部・生徒会・有志の生徒が、地域の方からの協力依頼を受けて「にこトピアいわで」で、壁面アートの制作を行っています。絵の構図の作成から参加させていただき、プロの方々の指導を仰ぎながら取り組んでいます。11月には完成する予定です。

毎年9月に岩出山にて政宗公まつりが開催されていますが、今年はコロナの影響で縮小した開催となりました。例年、若武者隊や給水、着付けといった様々な役割を果たし、全校生徒が参加しておりましたが、今年は残念ながら参加できませんでした。

来年はコロナが収束することを願っています。そして、これまで通り岩出山地域の行事に全校生徒で参加し、地域と共に盛り上げ、本校の魅力の発信や地域への貢献に取り組んでいきたいと考えております。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://iwadeyama-h.myswan.ed.jp/>

(7) 加美農業高校 <最新の農業機械について知ろう>

本校では地域の企業と連携し、最新の農業機械や電気自動車などについて学ぶ機会があります。

今年、農業機械科の授業では株式会社宮城ヤンマー商会の協力のもと、全自動田植え機の乗車体験などIoTを活用した先進農業体験、日産自動車株式会社の協力のもと電気自動車の仕組みについて学びました。

農業機械科では、地域の企業等と連携し、先進農業について学習しています。機械に興味のあるみなさん、農業機械科で学んでみませんか。

学校のウェブサイトでは農業機械科の様子を公開しています。是非ご覧下さい。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>

(8) 古川工業高校 <機械科防災学習について>

10月に本校の機械科3学年では、内陸部や沿岸部の自然災害発生メカニズムとその地域で起こりやすい災害や過去の災害事例について現地見学を実施し、命を守る行動を身に付けることを目的として校外学習「防災学習」を実施しています。

沿岸部の被災施設（気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館）の見学や被災体験談を聞き、また復興状況（気仙沼市内）を見学して、その地域の人々の防災の大切さについて学ぶことができました。

【参加生徒の声】

- ・ 「自分の身は自分で守る」「情報を信じ切らないこと」を語り部さんをおして学ぶことができました。
- ・ 防災意識を高めることができ、「自助」と「共助」を意識しながら災害に備え、自然と付き合っていきたいです。
- ・ 東日本大震災遺構・伝承館を見学して、被災当時の建物内部はぐちゃぐちゃになっていて津波の破壊力は恐ろしいと感じました。
- ・ 地震はいつ、どこで、どのような状況で起こるか分からないので、ハザードマップを見ておいたり、情報を集めて自分の命を守る行動をしたいです。
- ・ 同じ被災者でありながら地震しか経験しなかった私たちにとって、津波の被害に遭われた気持ちを100%理解することはできないかもしれませんが、だからこそ当時の記憶を後世に伝え続けていくことが大切だと思います。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://furukk-h.myswan.ed.jp/>

(9) 迫桜高校 <産業社会と人間>

「産業社会と人間」とは、総合学科の必修科目の一つです。通称「産社」と言われ、1年次の前期に週4時間行われます。産社は、生徒それぞれが将来の夢の実現のために「今、必要な力を付ける」ことに向けた実践的な学習の時間です。「自分史作成」、「科目選択」、「職業人講話」など実際に見たり聞いたり、友達と話し合ったりしながら自分自身の生き方を考え、「自分の夢の実現」の為に何をすれば良いのか具体的な計画を立てます。計画を立てる中で迷いや悩みを抱えることもあるかもしれませんが、その迷いを自分の力で解決していくのが産社を学ぶ意味でもあります。

産社の最後には自分の夢の実現に向けた設計図を「ドリカムプラン」として仕上げます。9月17日（金）に、その「ドリカムプラン」の発表会が行われました。代表者の発表を真剣に聞き、メモを取りながら自分のプランとの比較を行う姿を見ることができました。



※写真は、ドリカムプラン発表会の様子です

< 学校のホームページはこちらです >

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(10) 石巻好文館高校 <在り方生き方研究 ～社会人講話～>

本校の総合的な探究の時間「甲斐ある人といわれたいむ」において、9月8日(水)に、1年次の生徒を対象に「社会人講話」を実施しました。本校の1年次における探究の時間では、大きく「在り方生き方研究」と「SDGs探究活動」の二つのテーマに取り組んでいます。「社会人講話」はそのうちの「在り方生き方研究」の一環として行うもので、普段は接することの少ない社会人の方をお呼びして、それぞれの職業についての講話を聴き、将来の進路や自身の在り方生き方についての考えを深めます。当日は10人の講師の先生方に来校してもらい、生徒たちは講師の先生毎に20人前後に分かれて講話を聴きました。講師の先生方の職業は、消防、学校事務、広告、飲食店、写真館、児童館、看護などであり、多彩な種類の職業についての講話を、皆メモを取ったりして熱心に聴きました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://koubunkan.myswan.ed.jp/>

(11) 石巻北高校 <おいでよ!と・ら・ま・い!>

石巻北高校がある石巻市鹿又地区では、古くから伝統芸能「虎(とら)舞(まい)」が伝わっています。これにちなんで、校地内に設けられた交流広場販売所を「と・ら・ま・い」と名付け野菜などを地域の方々に販売する活動を行なっています。2012年5月から営業を始め、多くのお客様に御利用いただいています。校内で生産した野菜や加工した食品を販売し、生徒が接客を行います。地元の方々が長蛇の列を作るほど人気店となっています。

この活動は、総合学科の5つの系列を連携したものになっています。食農系列は商品の供給、家庭系列はレシピの提供、経情系列は経理と経営、教養系列は芸術作品の展示(現在はコロナ対策のための運営)、進学系列は「とらまい通信」の編集と発行をしています。他にも、1年次生は伝統芸能の太鼓を叩き、生徒会では他校の商品の受託販売や学校行事の動画を作成し放映しています。全校が関わる一大プロジェクトになっています。

今年度は11月10日・24日、12月8日の残り3回です。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



※校内で生産加工しています

『めざせ!地域のスペシャリスト』

みなさんも石巻北高校にきて、様々な活動に取り組んでみませんか?

< 学校のホームページはこちらです >

<https://ishikita.myswan.ed.jp/>

(12) 石巻工業高校 <みやぎ県民大学学校等開放講座実施>

6月12日(土)、19日(土)、26日(土)の3日間、本校化学技術科では、化学技術部の生徒とともに、みやぎ県民大学学校等開放講座を行いました。

「地域の実験室“化学の世界”」と題して、七宝焼き制作や電子顕微鏡を用いてミクロの世界を観察したり、炎色反応の体験、エステル合成、オレンジIIの合成などを行いました。

タイトルだけを見ると難しそうな内容ですが、化学技術部の生徒は、参加した小中学生が楽しく理解できるような工夫をしつつ、さらに、自分たちの専門スキルの深化につながる経験をすることができました。

参加者からも好評で、また参加したいという声が聞こえてきました。この講座は地元のラジオ局や新聞社の取材があり、生徒の活躍が広く伝えられました。

今後も、工業高校の魅力を伝えられる活動を続けていきたいと考えています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://ishiko.myswan.ed.jp/>

3 学校紹介

(1) 柴田高校 <体育大会が行われました！>

9月3日(金)、4日(土)の2日間にわたり、柴高祭が開催されました。今年のテーマは「Better Day Better 新たな柴高祭」です。昨年度と同様、感染症対策を施し、校内発表のみでの開催となりました。ウイルス感染防止を徹底し、多くのルールや制約がある中でも、楽しむことができ思い出に残るものになりました。

屋外ステージでは、吹奏楽部や有志ダンスグループによる発表、校舎では各クラスや学芸部などによる発表がされ、とても活気のある、素晴らしい行事となりました。こうした協働の経験から、仲間との輪を広げ、さらには自らの成長に繋げ、一人一人の「夢実現」へと進められる柴高祭となりました。

みなさんも柴田高校であなたの夢を実現してみませんか。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sibata.myswan.ed.jp/>

(2) 角田高校 <「角高夢 Project」進行中！>

本年度から角田高校の総合的な探究の時間は、従来の総合的な探究の時間を発展的に整理し、「角高夢 Project」として新たに生まれ変わりました。「角高夢 Project」は、角高生の夢（自分の進路、やりたいこと）を叶えることや、角高生が夢を叶えるための過程で地域社会との関わりを深め、地域社会を元気づけてほしいという思いから名付けられました。

1年次では、講師を招いたワークショップをはじめ、SDGsや角田市の取組についての地域探究講話等を実施し、今後は研究テーマを設定し、探究活動をさらに深めていく予定です。

2年次では、生徒一人ひとりが将来を見つめ、自分の興味関心や探究したいテーマを掘り下げてきました。新たな研究の糸口の発掘に向けて、仮説を立て、近隣地区から仙台圏まで活動範囲を広げた調査活動を行います。

どちらも最終的にはその成果をまとめ発表します。生徒一人ひとりが自己の課題や地域の課題等を意識し、課題解決や自身の夢の実現に向けて意欲的に取り組んでいきます。



※講師を招いてのワークショップ



※グループでの探究活動

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kakuko.myswan.ed.jp/>

(3) 仙台向山高校 <第47回向陵祭>

去る8月27日（金）と28日（土）に本校の文化祭である「向陵祭」が「羽撃け ～僕らで創る頂の景色～」をテーマに開かれました。

さまざまな制約がある中、感染対策を取りながら各団体の展示発表及びそれを紹介するPR動画、全体企画、文化部ステージ発表、バンド演奏、バザーなど、盛りだくさんの企画が行われました。各団体とも工夫を凝らしたもののばかりで、大いに盛り上がりました。

今年は新型コロナ感染拡大の影響で、一般公開である土曜日には、3学年の保護者の皆様だけ御来場いただきました。

この向陵祭は、企画から宣伝、運営、会計に至るまで、生徒の手によって行っています。仙台向山高校では多くの行事を生徒自らが手掛けています。10月には「秋の中庭コンサート」を企画・開催し、各教室に中継する予定です。

皆さんも、仙台向山高校で生き生きとした高校生活を送ってみませんか。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://mukaiyama.myswan.ed.jp/>

(4) 古川高校 <『総合的な探究の時間』で学ぶこと>

古川高校では、3年間毎週木曜日の7時間目に『総合的な探究の時間』があります。この時間では、地域や社会の課題を見つけ、その解決策を友人と協力しながら探究する力を養います。また、調べたことや考えたことを他の人に伝える力も養うことを目指します。

ところで、皆さんは自分の将来についてどのようなことを考えていますか？高校生活を充実させるためには、将来の目標をしっかりと見定めることが大切になります。そのためには、自分が何に興味があるのか、どんな適性があるのかに気付くことが必要です。「総合的な探究の時間」を使って、地域や社会の課題を見つけるわけですが、その際には自分が興味のある課題に取り組んでもらいます。興味があるということは、将来のその分野に関連することを仕事とする可能性が高いと思われれます。より深く探究していくことによって、自分の将来を考えるきっかけにもなるわけです。

変化のスピードがどんどん速くなっている現代社会では、答えが見付かっている課題がどんどん出てきています。まさに今回の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に直面した人類が、どのようにこの問題に立ち向かっていけば良いのか。この地球上にその完全な解決策を持っている人はどこにもいません。今回のコロナの問題だけでも、文系・理系問わず様々な課題が見えてきます。まさに今の時代、次々に出てくる課題に立ち向かい、その解決策を探る力を持っている人材が求められています。「総合的な探究の時間」は、社会から求められる人材に自分を近づけていくための時間でもあるのです。

今年度は、2年生が行った探究活動のうち、3つの優秀なグループが文化祭で発表しました。1年生は先輩たちの発表を聞き、始まったばかりの自分たちの探究活動の参考にした様子です。新型コロナウイルスの感染拡大がこれからどのように変わっていくか不透明ですが、1年生は冬の時期に、自分たちが取り組んでいる探究活動をより深めるために、情報収集の一環として地域に出て行ってフィールドワークを行う予定です。2年生は、1年生から取り組んだ課題を深めたり、新たに課題を設定したりして、個人での探究活動へと移行していきます。1年生も2年生も自分の進路と結びつけた探究活動になっていくことを期待しています。



※各クラスから選ばれた優秀な研究を文化祭で発表している様子（令和3年度2年生）

< 学校のホームページはこちらです >

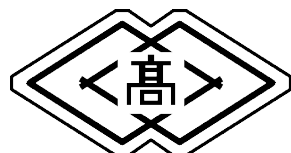
<https://furuko.myswan.ed.jp/>

(5) 松山高校 <松高生の日日是好日でありたい>

新型コロナウイルス感染症が日本中に蔓延し、宮城県も感染者急増に伴い緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されました。松山高校では教室が密にならないように広い特別教室を利用するなど、感染対策をしっかりとし、時差登校で6時間の40分短縮授業や各種行事の延期などで対応しました。

今回は、松山高校の歴史を紹介いたします。

校章の由来



校章の図柄は1980年4月在校生から募集し、^{かさ}重ね^{けんびし}剣菱と松の葉の組合せが選ばれ、先生たちが修正を加えて出来上がりました。

重ね剣菱は旧松山城・茂庭家の家紋で、松は町木（当時松山町）。真ん中の高の字を囲んだ太い線は、生徒と先生ががっちりスクラムを組んだ形を表しています。

9月19日（日）は42回目の開校記念日です。

松山高校の成り立ち

- 昭和7年（1932）志田郡松山町立松山女子専修学校
- 昭和16年（1941）志田郡松山町立松山実家高等女学校
- 昭和18年（1943）志田郡松山町立松山高等女学校
- 昭和23年（1948）宮城県古川女子高等学校松山分校定時制
- 昭和42年（1967）宮城県古川女子高等学校松山分校全日制
- 昭和55年（1980）宮城県松山高等学校



なぜ9月19日が開校記念日か？

開校したのは昭和55年4月1日ですが、初代の飯村富也校長が「意義があり忘れられない開校記念日を設定したい」と考えていた時に、校地隣接の稻荷神社の春の例祭が行われました。祭りと松山高校開校を歡び合う人々に接し、9月19日秋の例大祭は尚更に良いのではと考え、職員や関係者の賛意を得て式典準備に入りました。そこに宗教的意図はなく、松山高校校舎や神社が茂庭公の280有余年の城址にあり、この土地で生活の中心にあり人々の心の拠り所となっていたという歴史の流れに、地域の高校として仲間入りをさせていただくことで、開校記念日として忘れられない日になると述べています。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://matuyama-h.myswan.ed.jp/>

4 コラム

(1) 白石工業高校 <ソフトボール部紹介>

中学生のみなさん、ソフトボールという競技はご存じですか？記憶にも新しいこの夏に行われた東京オリンピックでは、劇的な試合を制し金メダルを獲得するなど、報道等で見た人もいるかと思います。白石工業高校ソフトボール部は、県内では珍しい「男子」ソフトボールチームです。スピーディな試合展開とホームランが多く見られるなどの力強さが魅力です。1球1球が見逃せない展開で、他の競技にはない奥深さがあります。

白石工業高校は、今年3月、2年ぶりに開催された全国選抜大会でベスト16となり、着実にレベルアップを果たしてきました。6月のインターハイ予選は決勝戦で競り負け悔しい思いをしましたが、コロナ禍の中でも、活動・活躍できたのは保護者と地域の方々、そしてOBの方々からの御支援と御協力のおかげです。感謝の気持ちを忘れず、先輩たちから受けたボールを、後輩たちが今も繋いでいます。皆さんも一緒にソフトボール部で活躍しませんか。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://shiroishi-kougyou.myswan.ed.jp/>

(2) 村田高校

<村高3年次生 第一希望の進路へ好発進！

～ 質の高い進路達成100パーセントを目指して ～>

現在、村田高校の3年次生は、それぞれの進路希望の達成に向けて、一生懸命に取り組んでいます。

民間企業への就職希望者は約53%となっています。9月中旬から採用試験が始まっており、早速内定をいただいた生徒が続々と出始めています。

大学や専門学校などへの進学希望者は、多くの生徒がAO入試や推薦入試を利用するため、勉強だけでなく小論文や面接の練習などにも必死に取り組んでいます。

基礎学力やコミュニケーション能力など、3年間で身に付けた力を発揮し、大きな夢への第一歩を踏み出そうとしています。

“村田高校は、「未来を拓く、選択肢が広がる」単位制・総合学科の高校です ”



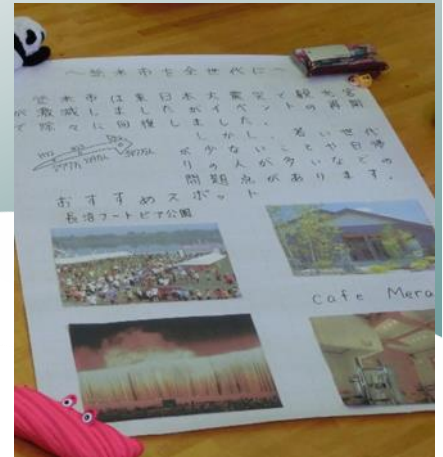
< 学校のホームページはこちらです >

<https://murata-h.myswan.ed.jp/>

(3) 佐沼高校 <「地域を支える」「世界とつながる」>

佐沼高校は119年の歴史を持つ伝統校で、地域を支える多くの人材を輩出してきました。前・現登米市長さん、ウジエスーパー社長さんも同窓生で、七十七銀行頭取をされた方もいます。その他にも、宮城県職員、宮城県警察官、登米・栗原市役所職員などの公務員として、また地域の医療機関、民間企業・事業所の一員として地域の行政、医療福祉、経済活動等に尽力されている方々が多数おられます。近年の卒業生の進路先としても地元で働くことを選ぶ生徒が一定数います。

高校卒業後すぐに働く生徒にとっても、進学後に地元で働きたいと思う生徒にとっても、地域のことを知ることは大切であると考え、総合的な探究の時間を中心に、地域の課題から世界共通の課題解決に向けた探究活動を進めています。直接地域を支えることの大切さは変わりませんが、グローバル化、情報化が進む現代社会では、間接的に地域と関わり支えることも可能です。地域への視点を持ちつつ、地域と世界をつなぎ、世界で活躍する卒業生が増えることを願っています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sanuma.myswan.ed.jp/>

5 お知らせ

(1) 鹿島台商業高校 <オープンスクールのお知らせ>

令和3年11月6日(土)にオープンスクールⅡを開催いたします。

鹿島台商業高校のオープンスクールⅡでは、主に商業科目の授業を体験して、商業高校ではどのような学習をするのかを知ってもらいたいと考えています。毎年、進路選択の参考になると好評の企画です。

今回は、保護者の方も参加しやすいように土曜日の午前中に開催いたしますので、中学生の皆さん、保護者の方と一緒に奮って御参加ください。



※オープンスクールⅠ

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/>

(2) 一迫商業高校 <新設する部活動の紹介>

○eスポーツ

令和4年度から新しい部活動（愛好会）が立ち上がります。全国でも大変珍しい「eスポーツ」です。eスポーツとは、「エレクトロニック・スポーツ」の略で、コンピューターゲームで技術を競い合う新しいスポーツ競技です。2022年のアジア競技大会の正式種目にも選ばれています。

本校3年生チームが今年度のSTAGE：0（ゼロ）全国高校対抗eスポーツ大会（コカ・コーラ主催）で宮城県代表として、東北ブロック代表戦に臨みました。決勝戦で惜しくも岩手県代表の一関第二高校に敗れ、東北ブロック第2位となりました。来年度こそは、本格的な部活動として全国大会に進出を期待しています。



※写真はイメージです

○ドローン

商業研究部にドローン班ができます。オリンピックの開会式でも多数のドローンが使用され、計算された整然とした動きを見せてくれました。コンピュータのプログラミングによるものです。そこで、ドローンの研究を商業研究部の活動に取り入れることにしました。現在、ドローンの用途は様々です。農業・商業・工業などの産業界だけでなく、防災や災害救助などの場面で活躍することになるでしょう。操作するだけではありません。プログラミングによる動作制御も部活動を通して学んでいきます。



※写真はイメージです

○バドミントン

今まで、バドミントン部はありませんでしたが、高校でバドミントンをやりたい皆さんの声から、愛好会を設置することにしました。バドミントンが大好きな中学生の皆さん、「一商のバド愛好会」で旋風を巻き起こしませんか。

一迫商業高校でやりがいのある高校生活を送りましょう。お待ちしております。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://ichisho.myswan.ed.jp/>

(3) 登米総合産業高校 < ICT機器を活用した授業 >

本校では授業をはじめ、さまざまな場面においてICT機器を積極的に活用しています。毎年11月上旬には先生方を対象としてICT授業研究会を実施しています。研究会では、ICT機器の活用方法等の情報共有や「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業の充実を図るための研修会を行っています。

本校で学ぶ皆さんには、グローバル化や急速な情報化、技術革新など社会の激しい変化に対応し、産業界をリードする人材育成を目指した教育活動を行っています。

詳しいことは、学校のホームページへアクセスしてください。「学習の特色」のメニューの中に「ICT教育」のページを設けていますので、ぜひ見てください。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://tomesou.myswan.ed.jp/>